

ユーザインターフェイス例

PIM-Aid : AR



ユーザ自身で作成可能なインターフェイス
作成された実績データをガントチャートやツリービューなどでビジュアルに表示できます。検索条件、表示項目などを自由に指定して保存できますので、目的別の画面をユーザ自身で作成することができます。

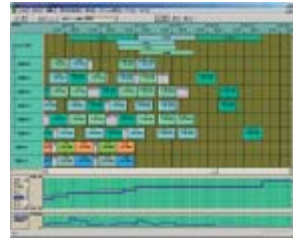


Excelで自由な画面・帳票を作成
Excelインターフェイスにより、実績データを簡単にExcelへ取り出すことができるので、日報、月報から製造原単位レポートなど様々な帳票を誰でも簡単に作成することができます。



マスター登録画面
プログラミングすることなく、Excelシート上でのマスター登録のみで、バッチプロセスモデルや連続プロセスモデルのデータ構造と締め計算式を定義することができます。システム稼働中の変更にも対応します。

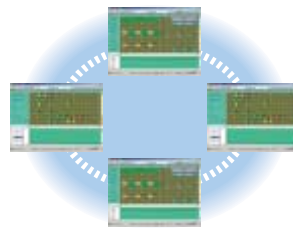
PIM-Aid : PL



柔軟なスケジューリング機能
ガントチャート上で、上下流工程の製造計画や在庫推移、リソース使用状況を確認しながら、製造量や時間の変更、移動や割込を感覚的な操作で簡単に行うことができます。



プロセス製造業対応
バッチジョブを連携指定して両者間の数量関係を自動調整したり、自動的に切替作業時間を設定するなど、プロセス製造業に特有の便利機能が豊富に用意されています。

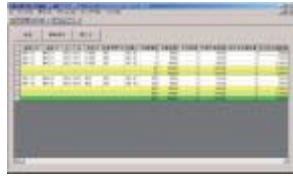


マルチユーザ対応
マルチユーザスケジューリングに対応します。複数の部署の計画を連携する事ができ、また立案した結果を企業全体で参照することができます。これによって「工場の可視化」を推進します。

PIM-Aid : BM



受払実績登録
予定参照および単独での受払実績の登録を行います。予定数量を変更して実績登録を行ったり、実績数量が利用可能在庫数量を超える場合はワーニングを通知します。



品目在庫照会
品目、保管場所別に在庫数量、引当数量、利用可能在庫数量を一覧照会することができます。



受払表
任意のデータをExcel上に出だし、帳票作成やデータ解析など自由にデータを加工することができます。

導入・サポートサービスについて

基本構想から運用・保守サービスまで、一貫したサービスとシステムライフサイクルサポートを提供します。

構想相談フェイズ

製品/事例紹介、実機デモ、簡易調査/提案書作成

分析フェイズ

現状調査分析、FIT&GAP分析

システム導入/構築フェイズ

基本設計&詳細設計、開発および単体テスト、導入コンサルテーション、パラメータ設定、マスターデータ登録、既存データ移行/開発、ユーザ教育

保守フェイズ

電子メール/電話などによるQ&A、トラブル対応、バージョンアップ

YOKOGAWA ◆

横河情報システムズ株式会社

本社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおい損保新宿ビル
ソリューション事業部 営業統括部
TEL. 03-5351-8301 FAX. 03-5351-8202
大阪支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル
武蔵野事業所 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32
広島事業所 〒732-0043 広島県広島市東区東山町4-1
福岡事業所 〒812-0037 福岡県福岡市博多区御供所町3-21 大博通りビジネスセンター
製品・サービスの詳細は、ホームページ <http://www.yicweb.co.jp> をご利用ください。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは

YOKOGAWA
横河情報システムズ

製造業向け工場経営システムパッケージ

PIM-Aid

Plant Manufacturing Execution System

More Than □
a Technology Company

工場と経営の融合を目指した製造管理システム

- 工場を統合する製造実績データベース
- タイムリーな受払・在庫管理
- プロセス製造業向けスケジューラ

www.yicweb.co.jp

PIS#1-0505-001

「工場経営システム」の実現

変革とスピードが求められる現在の経営環境において、企業はより一層のコスト削減や経営の効率化を迫られています。製造業においても、個々の製造現場単位での効率化活動に加え、企業全体を通しての効率化アプローチが求められています。

このような中で、工場の製造管理システムには、ERPに代表される全社経営システムと工場のDCSやPLCといった制御システムを統合し、現場の貴重なデータを経営に有効活用する「工場経営システム」へのニーズが高まっています。

工場経営システムは、工場の製造管理をきめ細かくサポートし、管理業務サイクルを効率化・高速化します。また、部門間のデータ共有や意思疎通をスムーズにし、経営目標に向けて企業の有限である資源の活用を最大化します。

PIM-Aidは、企業が求める工場管理の基盤を整備し、市場の変化に機敏に対応する工場経営システムを実現します。

■PIM-Aidの適用業務

製造実績管理

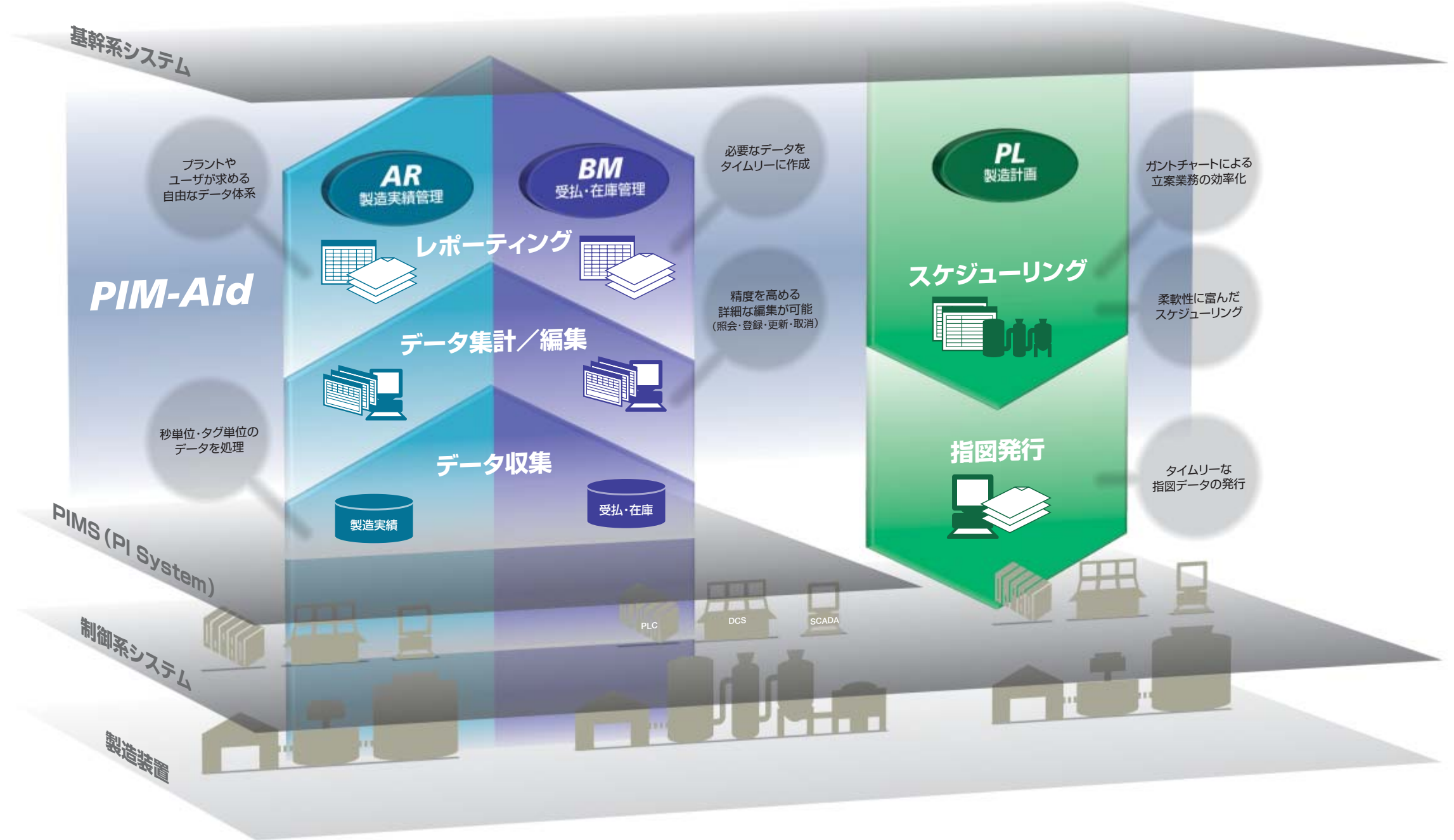
製造結果を把握し改善を進めるため、原料使用量・生産量などの数量管理、コストや製造原単位管理、製造効率を数値化した指標管理などの実績管理機能が工場経営システムとして必要です。PIM-Aidは、様々な運転制御システムや工場内に点在している生産現場のデータを統合することにより、経営的に価値の高い情報を生成します。また、これらを管理値として整理・分析し、最終的な集約結果を全社経営情報システムに報告します。

受払・在庫管理

場内では原料の入庫から製品の出庫まで、様々な受払も含めて多種多様な場内物流のイベントが日々発生しています。PIM-Aidは場内物流業務の効率化支援を行い、受払バランスと利用可能在庫数量をタイムリーに管理・把握します。また、これらの情報を全社経営情報システムと連携することにより、販売計画や製品の在庫計画、原料計画の精度向上、受注機会損失の低減といったメリットを提供します。

製造計画

生産計画は全社経営情報システムによって、まず全社レベルで作成されますが、この生産計画は月次・週次レベルのラフな目標値でしかありません。より細かく具体的な製造計画は実際の製造状況を逐次反映させる必要があり、これは製造現場すなわち工場で行なうことができません。PIM-Aidは全社経営情報システムで作られたラフな生産計画を実行可能な製造計画にブレイクダウンするスケジューリング環境を提供し、製造現場への製造指示データを提供することができます。



製造現場の視点による戦略的システム活用

従来、製造設備を対象とした製造管理システムでは、工場や装置毎にシステムを標準化することが非常に困難なため、膨大なカスタマイズや個別開発で対応せざるを得ませんでした。PIM-Aidは、これらの問題を解決し、製造現場のユーザ自身が戦略的にデータを活用するために開発された「工場経営システム」パッケージです。

- データを体系化し論理的なデータモデルを構築できるデータモデリング機能
- データモデルに実際のデータを入力する外部インターフェイス
- データ間の内部処理を簡単に定義できる簡易計算機能
- ユーザ自身が自由に画面や帳票を作成できるユーザインターフェイス

経営情報システムとのシームレスな統合

PIM-Aidは、工場の製造管理業務とERPなどの全社経営情報システムを統合します。経営情報システムとのデータ連携により、市場環境の変化に迅速に対応できる製造管理システムを実現します。

- 製造現場と経営情報の統合
- 経営管理サイクルと工場管理サイクルの同期化
- スピーディな実データに基づく情報伝達
- 現場手入力の解消

導入効果

- 工場全体の生産や入出荷にかかわる計画・実績データの一元化による作業量の削減
- 指図入出庫報告を中心とした日次作業の合理化
- 日計表を用いた工場のバランスや月報の製品収率、原単位の容易な把握
- 生産計画の作成や在庫調整、作業完了時の製造報告のスピードアップ
- PIMS (PI System等) からのデータ集約、自動転送により、手入力や二重入力の撤廃
- ガントチャートを用いたバッチ型製造品の生産計画作成、見直し業務の効率化
- 販売計画から原料計画への精度向上や機会損失の低減
- EUC (エンドユーザコンピューティング) の推進により管理者の負担を軽減